



市の花
なのはな



市の木
さくら



市の鳥
ひばり

つくばみらいの

見聞発見 魅力の

第11回

結城家に伝わる数々の史料を展示

～ 結城三百石記念館 ～

結城家は鎌倉時代初期の朝光公を始祖とする名族であり、江戸時代初期に当地に帰農して以来「結城三百石」と称され、地方開発の中心的役割を担ってきました。市では、郷土の発展を願って当家から寄付された屋敷を保存活用し、建物と周辺環境を整備して、市民利用施設として広く公開しています。

敷地内には母屋・長屋門・蔵などが建てられています。堂々とした屋敷構えは、江戸時代の豪農名主、明治初期の戸長宅としての風格を示しています。敷地全体は自然観察路として整備され、四季折々の草花、野鳥、虫などを見ることができます。館内では、当時の生活をうかがい知ることができるように、生活具をもとの場所にそのまま展示してあります。また史料収蔵庫には江戸時代初期からの文書類が5,000点以上保管されており、その一部が展示公開されています。



▲母屋。座敷に上がることもできます。



◀自然観察路。梅や竹など、生活に結びついた樹木が多く見られます。

▼先人の生活文化を語る貴重な調度品。



— 結城三百石記念館 —

- 開館時間 午前9時～午後4時30分
- 休館日 毎週月曜日（月曜日が休日の場合、その翌日）、12月28日～1月4日
- 入館料 無料
- ※体験学習にご利用ください。（句会、茶会、古文書解読会など）
- ◆問い合わせ ☎ 58-8822 (FAX兼用)

アクセス

